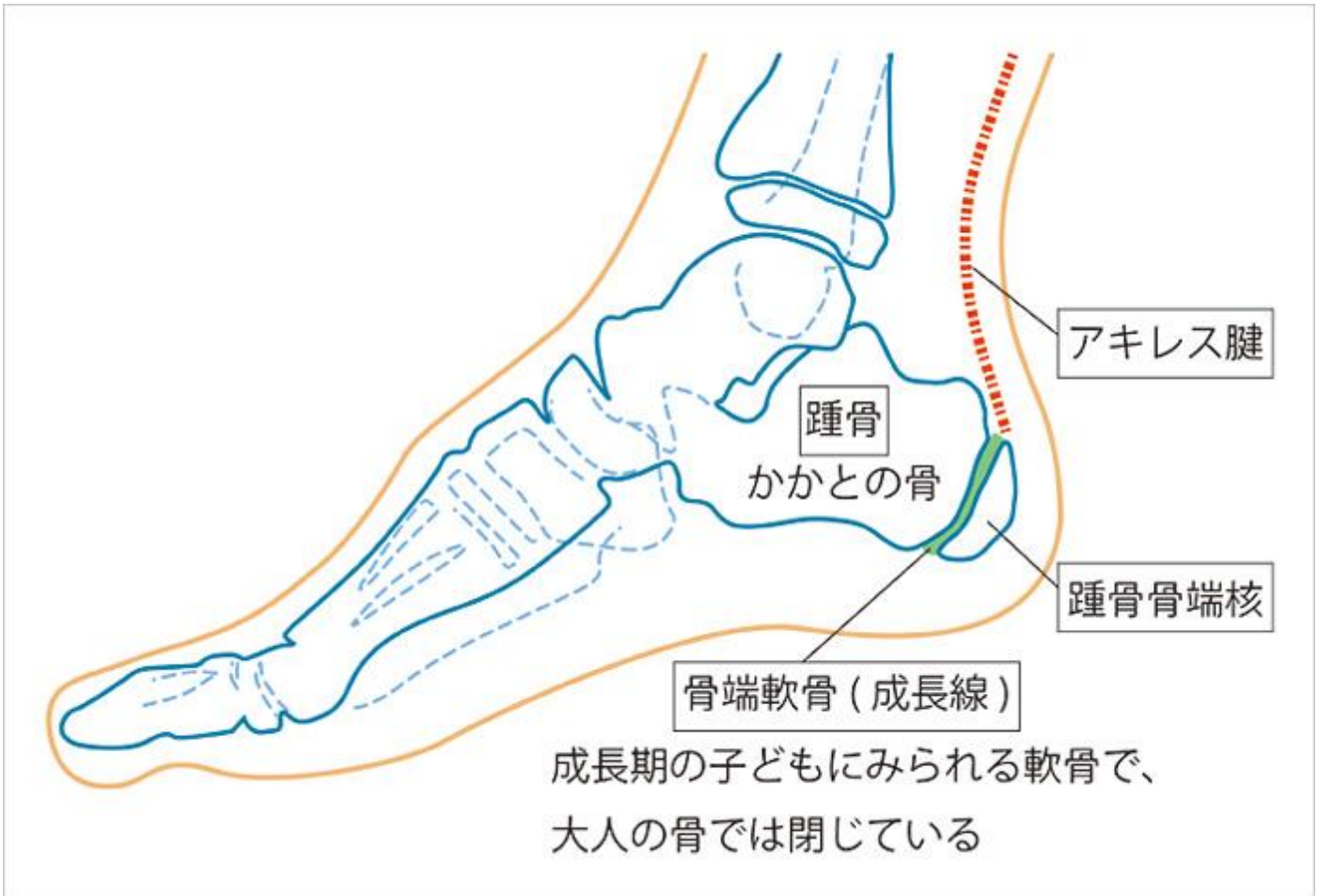
安井鍼灸整骨院 NEWS VOL.40（１月）

こんにちは。安井鍼灸整骨院です。今回は、踵骨骨端症(セーバー病、シーバー病)です。

踵骨骨端症(しょうこつこったんしょう 別名：セーバー病、シーバー病)は、10 歳前後の男児に多くみられる病気で、かかとの軽い腫れ、圧痛(押すと痛いこと)、歩行時痛がその症状です。過激な運動のあとに症状が出ることが多く、かかとの痛みのため、つま先歩きになることもあります。

発育期の子どもの弱い踵骨骨端部(かかとの骨の端でアキレス腱が付着しているところ)に運動などで負荷がかかり、そこにアキレス腱の引っぱる力が持続的に加わることで、踵骨に血流障害が起こり、踵骨骨端核(かかとの骨の骨端軟骨より先の部分)の壊死(えし)、または骨軟骨炎を発症するのがこの病気です。



X 線撮影では、踵骨骨端核の不規則な骨硬化像を示しますが、症状と X 線像の変化が一致しない場合もあります。全身的系統疾患ではなく、局所疾患であり、血液検査などでは正常値を示します。

踵骨骨端症の病院の治療法

まずは局所安静とし、過激な運動は中止して経過をみます。痛みが強く続く場合には、歩行を免荷(かかとに体重をかけないこと)にするため、松葉杖を使います。または、足底挿板(そくていそうばん：靴の中敷き)を使用します。経過は 1～数年と長いことが多いですが、予後(治ったあとの状態)は一般に良好です。

テーピング

①内くるぶし上からスタート（写真左）

②外くるぶし上を通り、かかとへ（写真左と右）

③かかとからアキレス腱を通り、外くるぶしの下から内くるぶし上へ（写真左）

シーバー病を楽にするポイントはかかとへの荷重を減らすことです。このテーピングは足首をサポート方法なのですが、結果かかとへの荷重を軽減してくれます。

安井鍼灸整骨院の踵骨骨端症(セーバー病、シーバー病)治療

① KT テープ(世界で初めての合成繊維１００%のテーピング)

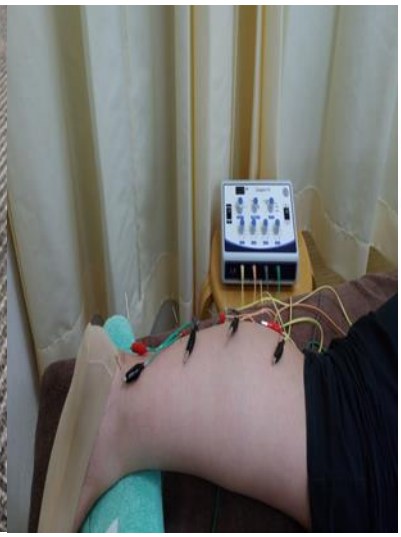
アスリートにとって疲労した全身の筋肉や関節、じん帯、腱を優しくサポートすることが重要です。KT テープは本来持っている筋肉や関節、じん帯、腱の機能を優しくサポートするために役立ちます。テニスのジョコビッチ選手、サッカーのクリスティアーノ・ロナウド選手など、世界のトップアスリートにも愛用されています。

②スポーツ鍼灸

スポーツ鍼灸は、主にアマチュアやプロのスポーツ選手を対象としてスポーツ障害の治療やケガの予防、コンディションを整えるために行われます。肩や腰、膝などスポーツによって施術箇所はさまざま。突発的なケガへの対応も必要です。

③コンビネーション治療とは

超音波療法と電気治療を組合せて行う治療方法です。通常、超音波治療法は治療感覚のないことが多いですが、電気治療を組合せることにより、患者様の治療部位での反応をみることができ、確実に治療を施すことができます。また、超音波のマイクロマッサージ効果と電流の鎮痛作用により、血行を促進し、疼痛を鎮めることで短時間での治療が可能です。



安井鍼灸整骨院　０７８－９９５－９４６１　新患の方は、来院前に予約の御協力をお願いします。

9：00～12：00　16：00～21：00(月～金)　８：３０～13：00　16：00～20：00(土)

駐車場正面に２台　キッズスペースあり　夜２０：３０まで受付　詳しくは HP をご覧ください。

兵庫県明石市大久保町大窪１９２１番地の１クレージュ山手１０１号(カラオケまねきねこ横)